

軍事機密

陸軍機密第三四號

第七十一師團ノ編制上一部部隊、人員、資材ノ缺除等ニ關スル件達

陸軍部 陸軍部

第七十一師團ノ編制上一部部隊、人員、資材ノ缺除等ニ關シ左ノ通定ム

昭和二十年一月十九日

陸軍大臣 杉 山 元

第一條 本道ハ第七十一師團ノ編制上一部部隊、人員、資材ノ缺除等ニ關スル事項ヲ定ム

第二條 編制上缺除スル一部ノ部隊、編制基準及現在編制ヨリ缺除スル人員、資材ノ基準附衣ノ

如シ

第三條 部隊ノ缺除ニ伴ヒ起剩トナル人員、其何ハ該分ノ同師團軍務司令官ノ定ムル部隊ノ定員

(數) 外トシテ欠員等ニ充用(旨)スルモノトス

師團軍務司令官ハ前項起剩人員、資材ノ項目、員數ヲ速ニ陸軍大臣、參謀總長ニ報告スルモノ

トス

第四條 第二條部隊 以下部隊ノ小銃八九九式小銃 海樂ヲ、機銃八九九式機銃 海樂ヲ、トス

(11)

23, 2, 6

0216

前項ノ小銃ハ下士自以下至員ニ発行セシムルモノトス

第五條 部隊ノ下士自以下ノ者ニ被服ハ昭和十九年反陸軍勤員計書令規則以下年附録四第八十

六 冬季ニ應スルモノトシ軍靴一組 及同第九十九ニ據ルモノトシ別ニ毛布二枚ヲ増加スル外同一

及非常大幕ノ支柱、在ルヲ隊ク 及備用トシテ履鞋ヲ、部隊裝備用トシテ編成人員ニ應スル又長及編成人員ノ約二割ニ應スル防

威覆面、防又手袋、靴筒御座試被熱地用非常大幕 一組ハ六 及被服補修材料約一月分ヲ増加スル

ス

第六條 部隊ノ化學教育材ノ定數ハ年細ニ據ルモノトス但シ全防毒具、被防毒具及視能眼鏡等十

ニ正リテハ定數ノ二分ノ一トス

第七條 前二條ノ被服中試被熱地用非常大幕以外ハ關東軍總司令官管理ノモノヲ充當スルモノト

ス

第八條 部隊ノ被服非常用燃料、糧秣ハ各一週面分及彈藥一會戰分部隊裝備用ヲ含ム 被兵器手入用

自動車發行部前、需印(陣中用印)、衛生材料ハ各一箇月分トシ關東軍總司令官整備ノ上ニテ

交付スルモノトス

第九條 本達實施ニ伴ヒ轉屬スル將校ニ在リテハ其ノ轉屬前後ノ職名、役種、官氏名及轉屬年月

日ヲ成ルヘク送ニ所官長官ヨリ陸軍大臣ニ報古スルモノトス

附 則

- 一 部隊ノ派遣ニ方リ乗船地ニ設置セル人員、資材ハ乗船地ヲ管轄スル最高軍司令官ノ定ムル所
- ニ 隊員兵ノ被下部隊ノ補充(給)等ニ用(員)スルモノトス
- 二 部隊ノ派遣ニ方リテハ昭和十九年陸軍省第一四三五號ニ據ル留守業務ノ處理ニ關シ是處ナラシムルモノトス

附表

第七十七師											部		現在編制ヨリ除外 人馬、資材ノ基準一覽表				
師團司令部											隊						
同	同	同	同	第七十一師團防疫給養部	輜重兵第七十一聯隊	第七十一師團通信隊	工兵第七十一聯隊	山砲兵第七十一聯隊	同 第四百一聯隊	同 第八十八聯隊	步兵第八十七聯隊	師團司令部	編制上 除外部隊	編制基準 人員	編制基準 馬匹	編制基準 自動車	現在編制ヨリ除外 人馬、資材ノ 基準
同	同	同	同														
病馬廠	第野戰病院	兵勤務隊	制毒隊		駄馬中隊二箇			聯隊段列	同 右	同 右	步兵砲大隊本部			一五〇	一〇	五	
一〇〇	二〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一五〇	五〇〇	一八〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇						
					一五〇	二〇	四〇	三〇〇	一一〇	一一〇	一一〇						
四	五	一〇	五	一五													
													上記編制基準ニ 超過スル人馬、資材 トシ細部ハ関東軍 司令部之ヲ定ムル モノトス				

0219